

# 薬物に関する意識調査

## 2020年度分集計報告(関西学院大学実施分)

これまで、大学生の大麻等不正薬物の所持・乱用による事件事故が相次いで発生し、薬物汚染が大きな社会問題に発展しました。こうした状況の下で、各大学における薬物に関する教育活動が喫緊の課題となり、2009年3月7日、本学は、関西大学、同志社大学および立命館大学との四大学による、薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。この声明を通じて、健康で充実したキャンパスライフを保障するとともに、より広い視点に立ち、安全・安心の社会を実現するための教育・研究、そして社会的な活動を大学の使命ととらえ、薬物乱用防止のための組織的な啓発活動を行い、広く社会に向けてその活動を展開していくことを宣言しました。

その具体策として、共同のアクションプランを企画し、共同声明の発表以降、3つのアクション「委員会の開催・設置」、「教育・調査活動」、「広報活動」を柱に各大学で様々な取り組みを実施してきました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催してきました。

こうした活動の一つとして、2009年10月から四大学共同の「薬物に関する意識調査」を開始し、同調査も今年度で12年目を迎えます。

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、当初予定していた調査方法での実施が困難となり、残念ながら四大学合同での調査を断念しました。本学でも非常に難しい状況ではありましたが、各学部での協力を得て一部回答を集めることができましたので、ここにその結果をご報告いたします。ご協力いただきました新入生および教職員の皆さまに心より感謝申し上げます。

薬物乱用を取り巻く状況については、国内での検挙者数は減少傾向となっている一方で、未成年者の大麻関連の検挙者数は増加しています。また海外では大麻を合法化する国も出てきています。また、インターネットを利用して密売されるなど流通ルートが潜在化しており、今後の動向を引き続き注視する必要があります。

私たちは、四大学共同の「薬物に関する意識調査」などの取り組みを今後も継続して実施することにより、学生の薬物に対する意識と態度等、若年層における薬物事情の変遷を明らかにし、さらなる薬物乱用防止策の企画立案に役立terるだけでなく、他の教育機関の諸活動においても今回の調査結果が役立つことを願っています。

2021年3月

関西学院大学学長 村田 治

\* 2015年度の本調査により、昨今流通する違法薬物が多様化している実情に鑑み「大麻」や「危険ドラッグ」といった個別の薬物について聞くのではなく、質問2で示した薬物を「これらの薬物」と総称した上で意識調査を実施している。(質問3~20)

### I 調査対象

対象者数 : 2020年度入学生 5,788名  
実施期間 : 学部ごとに実施  
調査方法 : 紙媒体  
回答数(率) : 2,478名 (42.8%)

### II 集計結果

各質問への回答状況は、次ページ以降のグラフ及び集計表のとおりである。

# — — — 主な回答の集計結果について — — —

質問集計例の一部 下記参照

◇質問1 薬物乱用問題について関心がありますか。(1つに○)

<回答>

非常に関心がある	2.4%	前年度比-0.3 ポイント
ある程度関心がある	31.8%	前年度比+0.2 ポイント
どちらともいえない	27.0%	前年度比+0.5 ポイント
あまり関心がない	16.7%	前年度比+1.8 ポイント
ほとんど関心がない	21.7%	前年度比-2.7 ポイント

◇質問2 次の薬物の名前を知っていますか。(複数回答可)

<回答>

有機溶剤 (シンナー、トルエンなど)	76.9%	前年度比+0.3 ポイント
覚せい剤 (スピード、エスなど)	91.8%	前年度比-0.3 ポイント
大麻 (マリファナ、ハッシッシュなど)	93.6%	前年度比±0
コカイン	90.8%	前年度比-1.5 ポイント
あへん類 (ヘロインなど)	61.3%	前年度比-0.8 ポイント
LSD	20.5%	前年度比+3.9 ポイント
MDMA (エクスタシーなど)	74.7%	前年度比+16.4 ポイント
いわゆる危険ドラッグ (脱法ハーブなど)	69.0%	前年度比-1.4 ポイント
知っているものはない	1.7%	前年度比-0.6 ポイント

◇質問15 (ア) 周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つに○)

<回答>

いない	87.2%	前年度比+0.7 ポイント
いる(いた)	3.6%	前年度比-0.2 ポイント
わからない	8.8%	前年度比-0.9 ポイント

◇質問15 (イ) 【質問15 (ア) で「2 いる(いた)」に○をつけた人だけお答えください】  
どの薬物でしたか。(複数回答可)

<回答>

有機溶剤 (シンナー、トルエンなど)	7.8%	前年度比-2.8 ポイント
覚せい剤 (スピード、エスなど)	8.9%	前年度比±0
大麻 (マリファナ、ハッシッシュなど)	47.8%	前年度比-2.9 ポイント
コカイン	4.4%	前年度比-0.5 ポイント
あへん類 (ヘロインなど)	0.0%	前年度比-1.4 ポイント
LSD	0.0%	前年度比-3.0 ポイント
MDMA (エクスタシーなど)	3.3%	前年度比-0.3 ポイント
いわゆる危険ドラッグ (脱法ハーブなど)	2.2%	前年度比-4.1 ポイント
わからない	36.7%	前年度比+8.0 ポイント

※大麻の比率が高い。

◇質問19 (ア) これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つに○)

<回答>

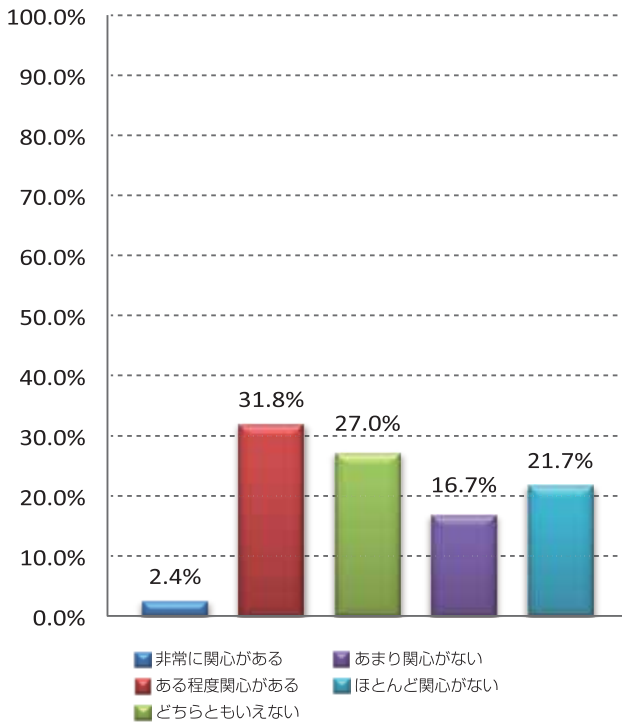
不可能だ	20.4%	前年度比-1.8 ポイント
かなり難しい	23.1%	前年度比+0.9 ポイント
難しいが手に入る	36.6%	前年度比-1.2 ポイント
手に入る	15.3%	前年度比-2.4 ポイント

◇質問19 (イ) 【質問19 (ア) で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」に○をつけた人  
だけお答えください】入手可能と考えた理由は何ですか。(複数回答可)

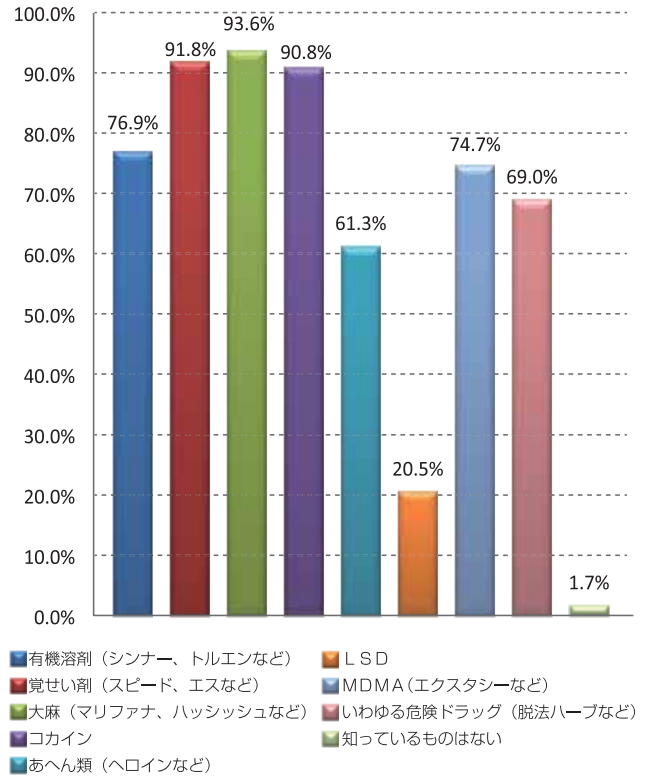
<回答>

インターネットなどで探せば見つけることができると 思うから	83.7%	前年度比-1.2 ポイント
インターネットなどで販売されているのを見かけたこと があるから	5.3%	前年度比+0.6 ポイント
それ以外	10.9%	前年度比-1.3 ポイント

共通質問 1) 薬物乱用問題について関心がありますか。  
(1つに○)

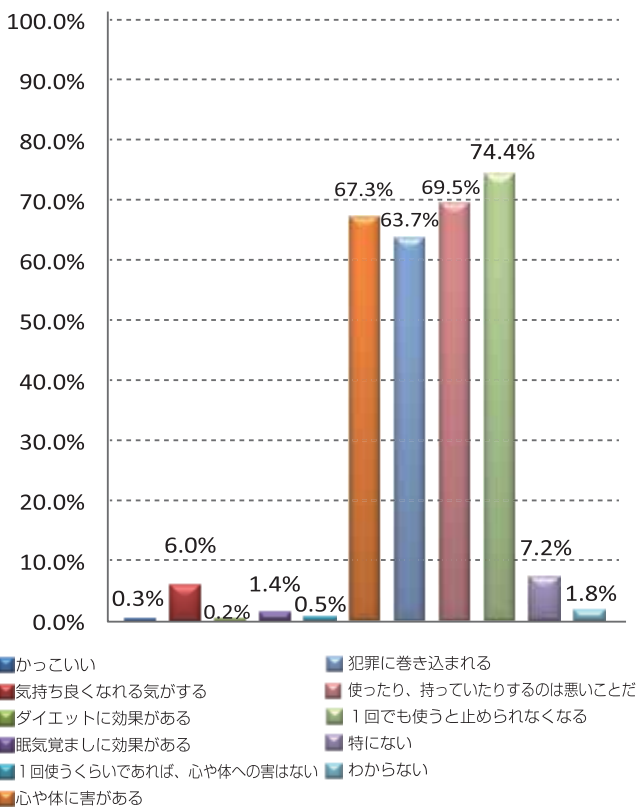


共通質問 2) 次の薬物の名前を知っていますか。  
(複数回答可)

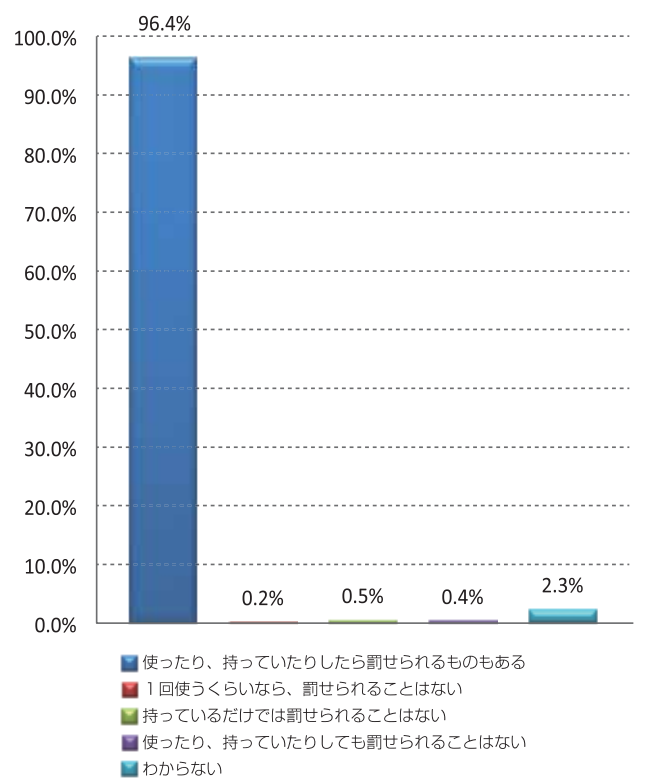


※次の質問 3) 以降は、質問 2) であげた薬物についてお聞きします。

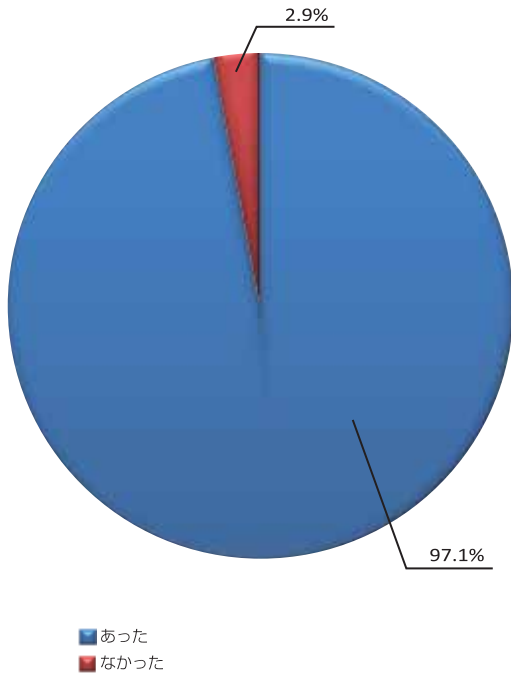
共通質問 3) これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。(複数回答可)



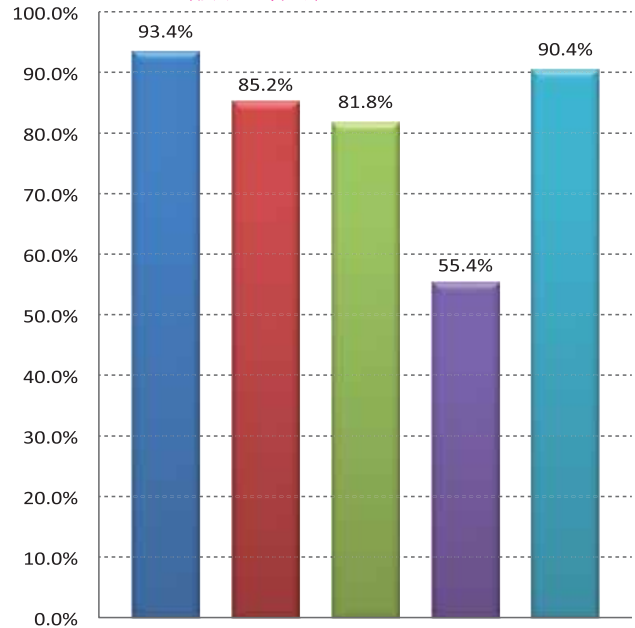
共通質問 4) これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、どうなると思いますか。  
(1つに○)



共通質問 5) これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありますか。(どちらかに○)

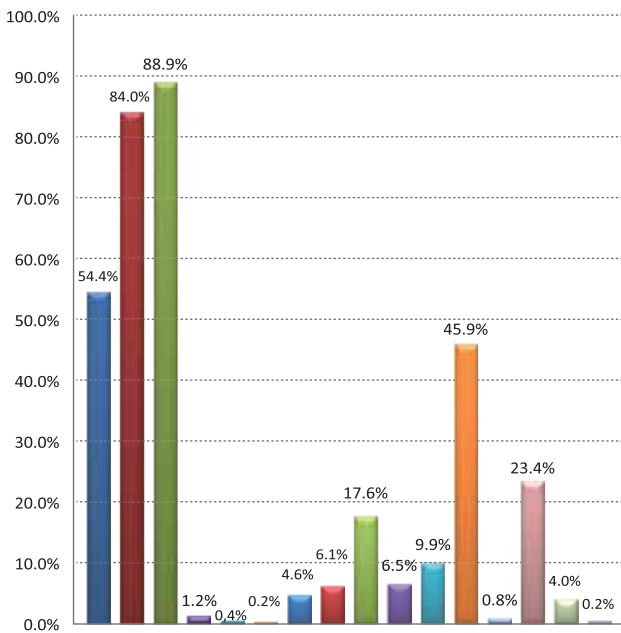


共通質問 6) これらの薬物を使った場合、次のようになることがあるのを知っていましたか。(複数回答可)



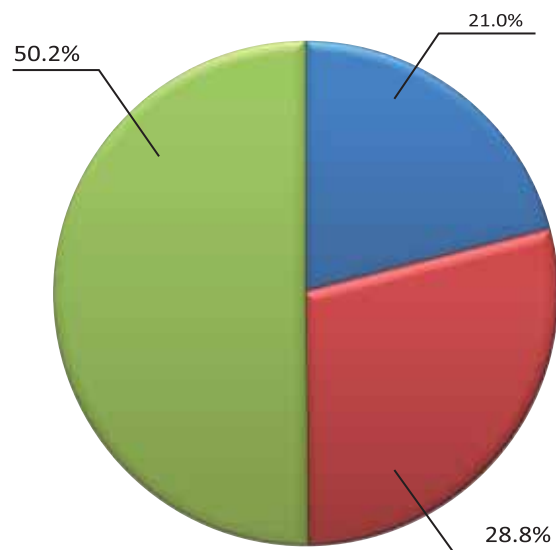
- 現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある
- わけもなく怯えたり(妄想気分)、意識がおかしくなり、奇妙な動作・行動をとることがある
- 自分の行動に干渉する声が聞こえる(幻聴)ことがある
- 何事にも関心が持てず、結果的に学校や職場を欠席しがちで、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる
- 依存性があり、意思の力ではなかなかやめることができない

共通質問 7) これらの薬物について何から情報を得ましたか。(複数回答可)



- 小学校の授業
- 中学校の授業
- 高校の授業
- 大学が配付しているリーフレット等
- 大学での啓発ビデオ
- 大学での講演会
- 友達、仲間、先輩、後輩
- 家族
- ポスター、パンフレット
- 本、雑誌
- 新聞
- テレビ
- ラジオ
- インターネット
- 携帯電話
- その他

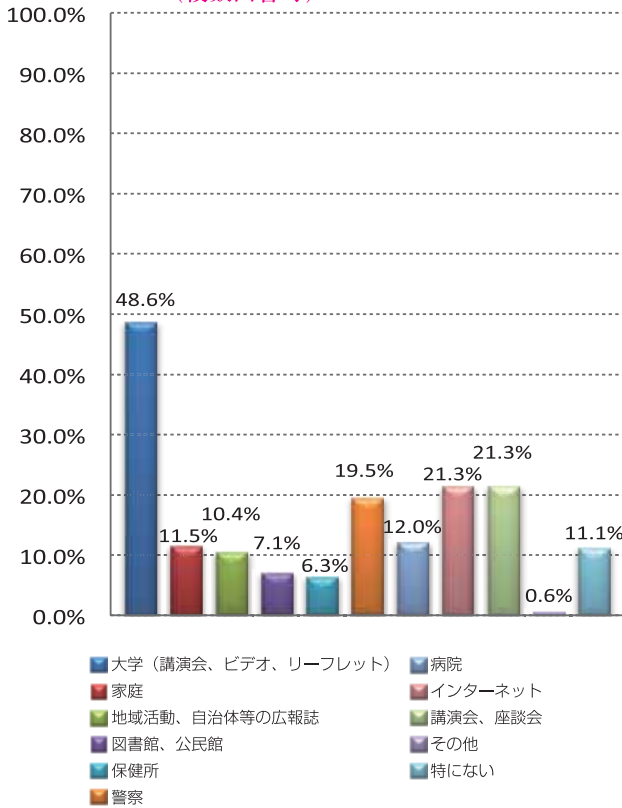
共通質問 8) これらの薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つに○)



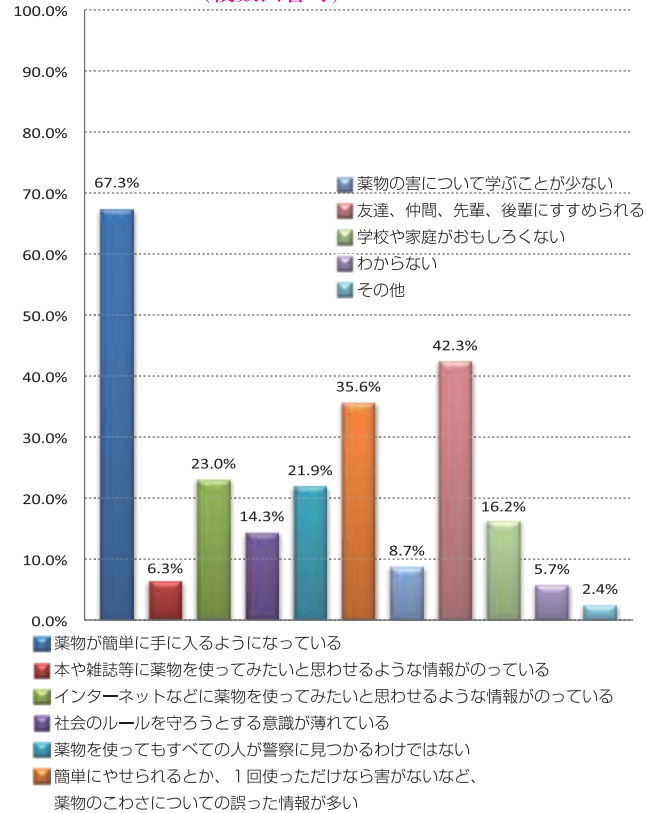
- 知りたい
- 知りたいとは思わない
- どちらでもない



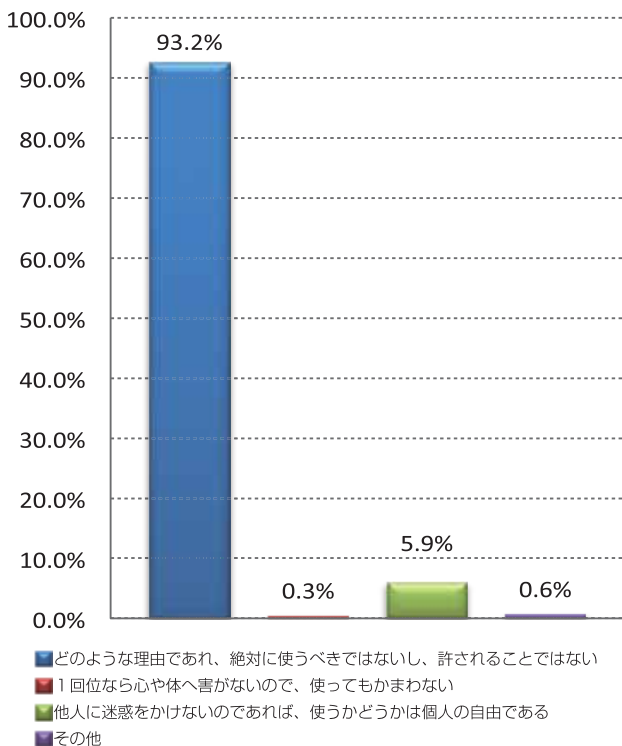
共通質問 9) これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(複数回答可)



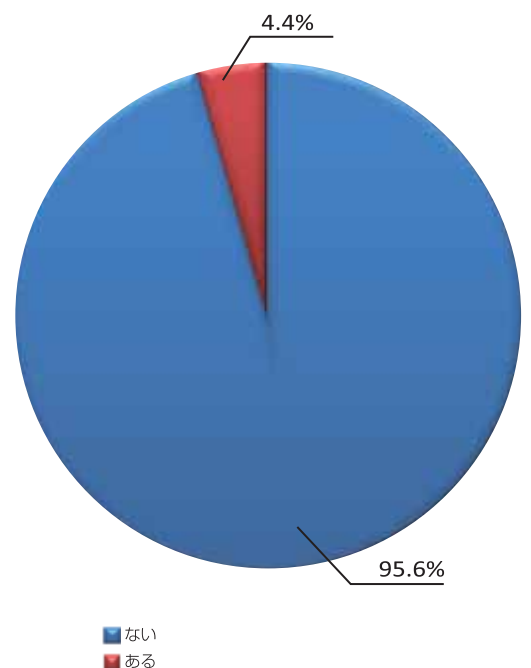
共通質問 10) これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。(複数回答可)



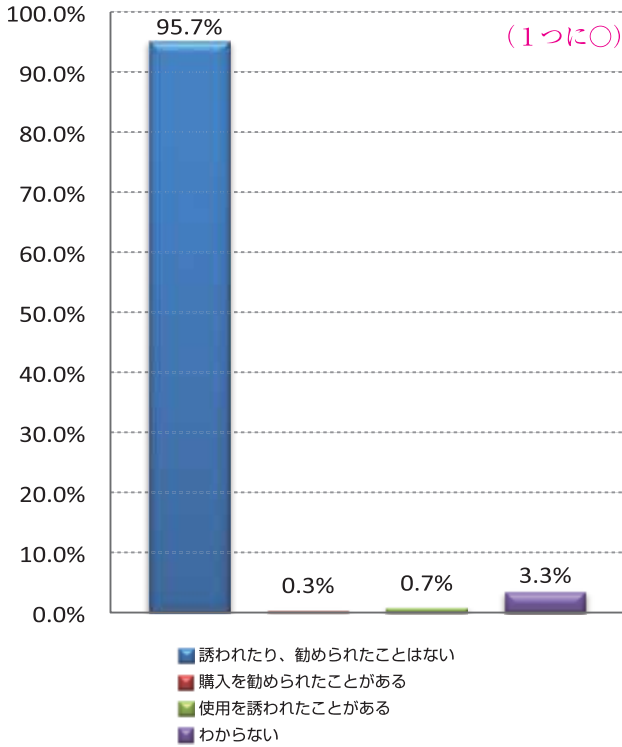
共通質問 11) これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つに○)



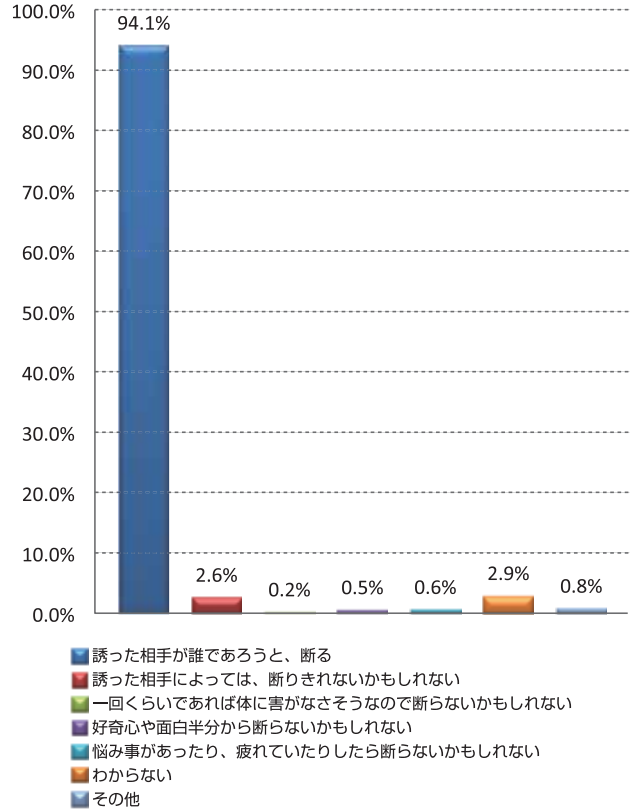
共通質問 12) あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。  
<テレビ、映画、報道等で見たものは除きます>(どちらかに○)



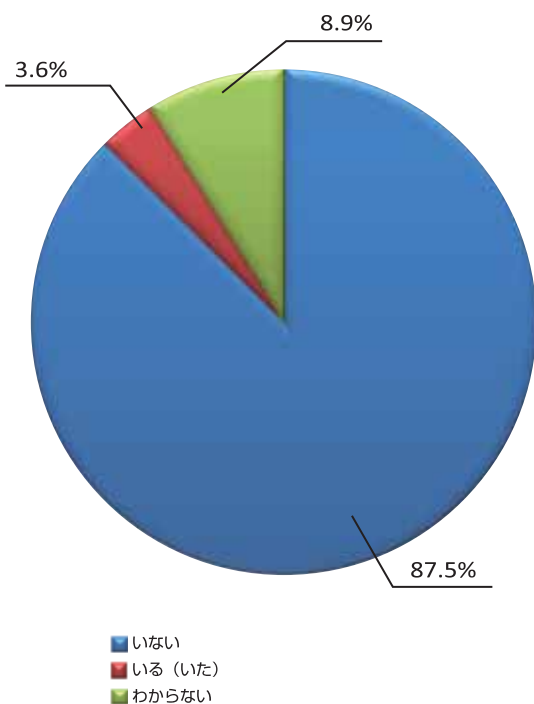
共通質問 13) あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つに○)



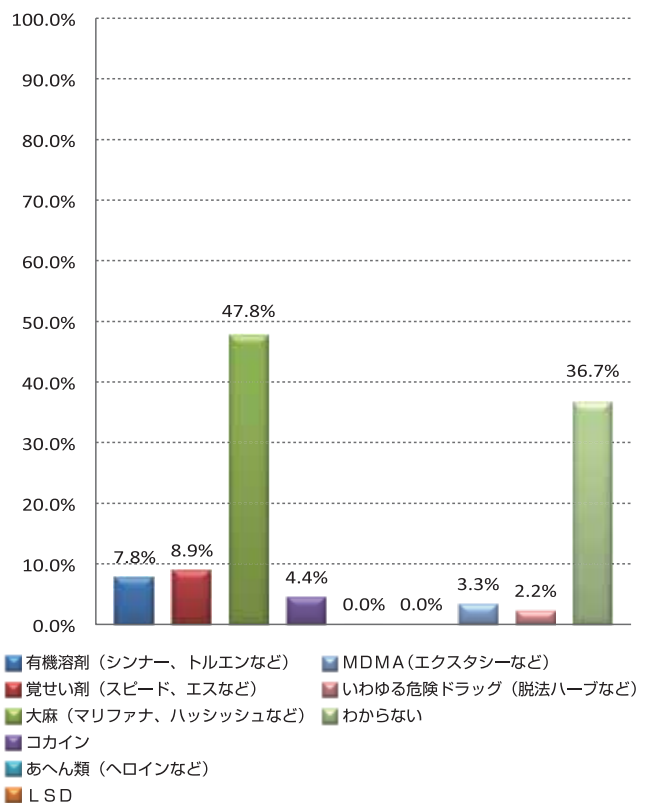
共通質問 14) これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。(複数回答可)



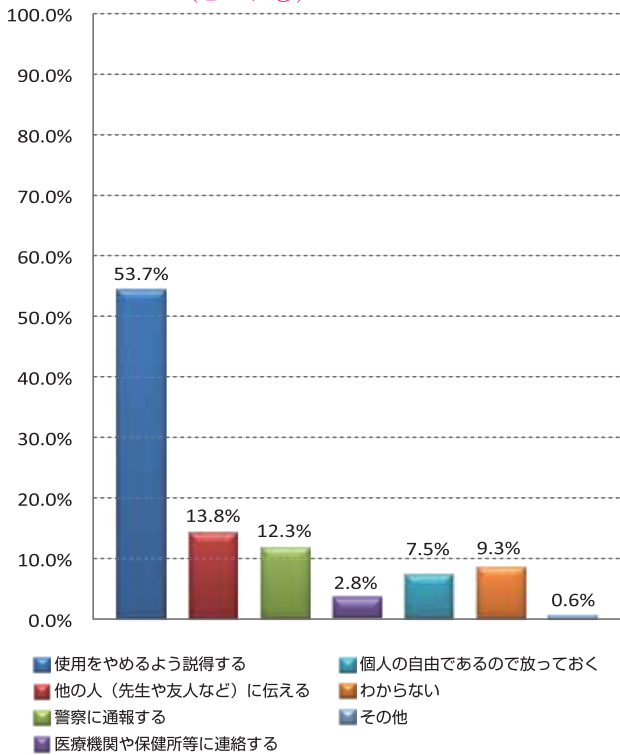
共通質問 15 ア) 周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している (いた) 人がいますか。(1つに○)



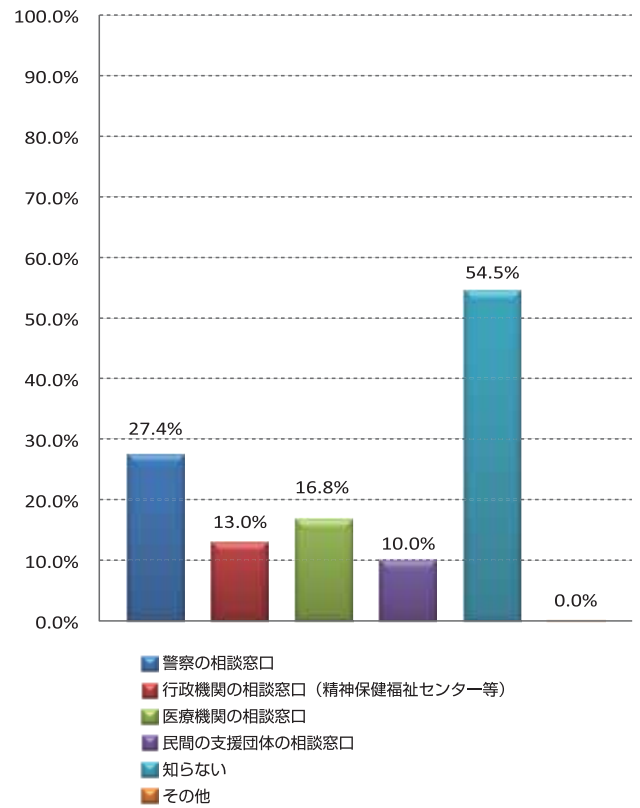
共通質問 15 イ) どの薬物でしたか。(複数回答可)



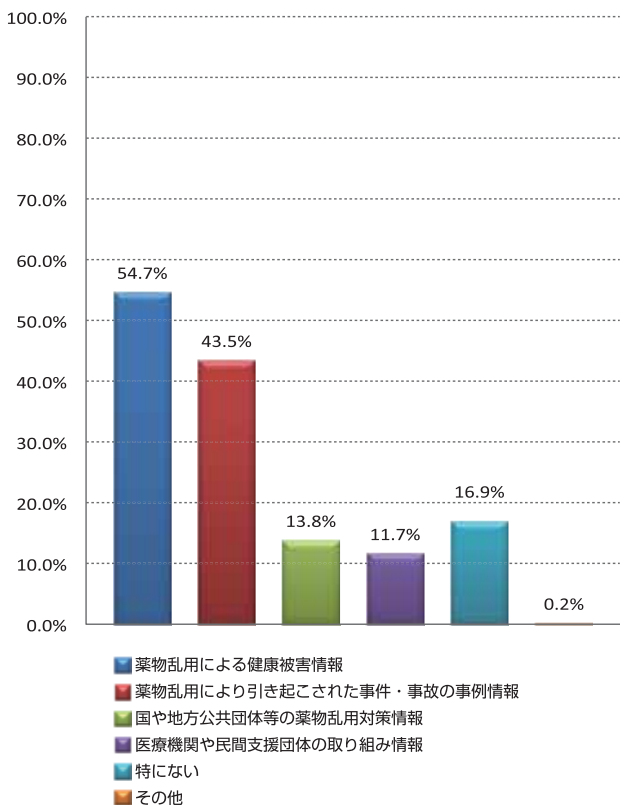
共通質問 16) もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。(1つに○)



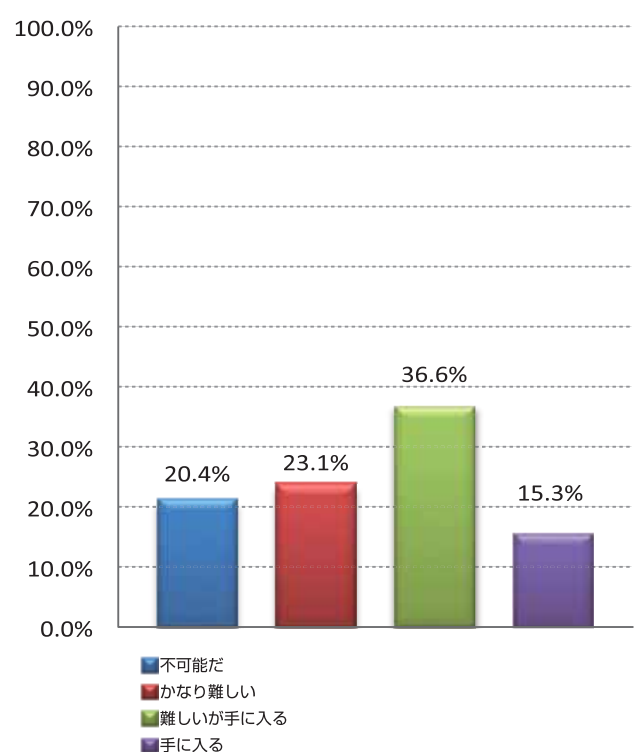
共通質問 17) これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数回答可)



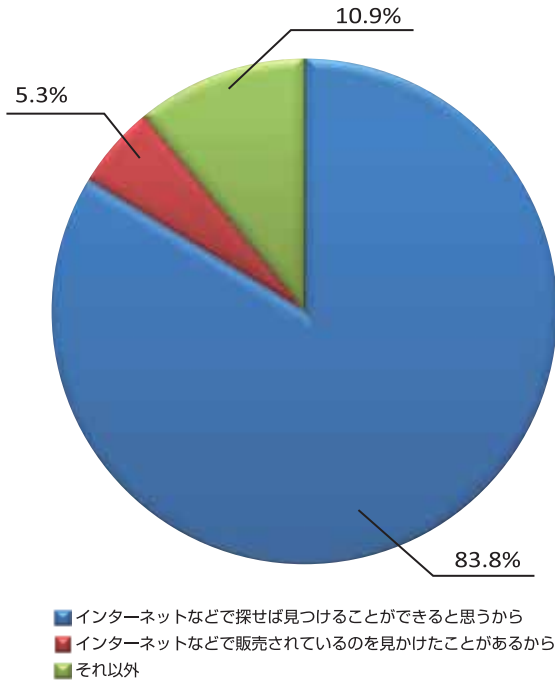
共通質問 18) まわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。(複数回答可)



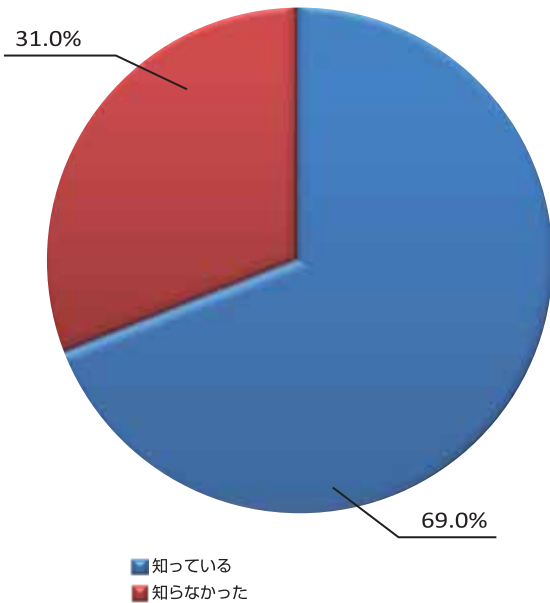
共通質問 19ア) これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つに○)



共通質問 19 イ)【質問 19 ア) で「3 難しいが手に入る」「4 手に入る」に○をつけた人だけお答えください】  
入手可能と考えた理由は何ですか。  
(複数回答可)



共通質問 20) あなたは、薬事法の一部改正 (平成 26 年 4 月 1 日施行)により、危険ドラッグと称される薬物や商品 (脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど) の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になったことを知っていますか。(1つに○)



## 薬物に関する相談窓口

### 兵庫県の薬物乱用問題に関する相談及び指導等

兵庫県精神保健福祉センター	078-252-4980
神戸市精神保健福祉センター	078-371-1900
兵庫県薬務課	078-362-3270

### 関西学院大学内

保健館 (西宮上ヶ原キャンパス)	0798-54-6023
保健館 (神戸三田キャンパス)	079-565-9045
保健館 (西宮聖和キャンパス)	0798-54-6509
学生活動支援機構 (西宮上ヶ原キャンパス)	0798-54-6110